

令和元年度 施策評価シート

基本目標	I	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	110	伝統文化を継承、発展させ、新たな文化・芸術を創造する
施策	112	すみだの新しい文化・芸術を育てる
施策の目標	区民がいつでも身近に文化・芸術にふれ、活動できる環境となっており、多くの担い手がすみだで育ち、集い、幅広い分野での新しいすみだの文化・芸術が創造されています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「過去1年間に文化・芸術活動に参加した」区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	16.0				25.0					30.0
実績	16.0									
指標名	区内アーティスト・文化芸術団体及び施設の「すみだ文化芸術情報サイト」登録数									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	139				180					200
実績	141									

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
これまで取り組んできた文化振興事業を基礎として、新しい文化・芸術を育てるための施策に取り組んでおり、東京オリンピック・パラリンピックを契機に、すみだから世界に文化を発信する「国際文化観光都市」を目指しています。	H28	544,771
	H29	558,181
	H30	726,235

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	文化芸術の拠点となる施設の維持管理、新たな文化・芸術を育成するための事業に取り組んでいる。今後、文化振興財団との役割分担など、さらなる見直しは必要である。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。 (2) 現状維持とする。 (3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。 (4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
東京オリンピック・パラリンピックを契機として、気運醸成に繋がるような施策を展開することにより、地域に文化芸術活動が浸透するよう取り組む必要がある。また、すみだの新しい文化・芸術の創造のためには、(公財)墨田区文化振興財団が、その専門性を強化し、地域における中間支援的役割を担う必要がある。	
【今後の具体的な方針】	
平成30年度に実施した「文化芸術振興のあり方検討調査」をベースとして、今後の文化芸術活動支援の方向性を定めていく。各事業において、東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムとなるように事業展開を検討し実施していく。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	文化芸術プロジェクト経費	40,593	14,765	55,358		35,000人	現状維持
						133,667人	平成30年度
2	文化振興財団運営及び事業補助	72,505	4,922	77,427		2件	改善・見直し
						3件	平成30年度
3	文化祭事業	5,299	5,906	11,205		3,300人・点	改善・見直し
						2,740人・点	平成30年度
4	少年少女合唱団	7,248	2,953	10,201		95人	現状維持
						91人	平成30年度
5	文化芸術活動育成事業	5,000	5,906	10,906		3,100人	改善・見直し
						3,364人	平成30年度
6	トリフォニーホール管理運営	570,205	2,953	573,158		300千人	改善・見直し
						237千人	平成30年度
7	リバーサイドホールの管理運営	25,385	7,875	33,260		80%	改善・見直し
						64.94%	平成30年度
9							
10							
11							
12							

施 策	112	すみだの新しい文化・芸術を育てる	部内優先順位			
事 業 名	文化芸術プロジェクト経費				1	
目 的	すみだ北斎美術館の開館を契機に、北斎を通じて区民が文化・芸術にふれる機会を創出するとともに、観光客を含む多くの人々に北斎の魅力を発信し、美術館を本区の観光拠点として「訪れたいまち」を実現する。				主管課・係(担当)	
					文化芸術振興課文化芸術・国際担当	
対 象 者	区民及び来街者				5608-6115	
根拠法令 関連計画	墨田区文化芸術振興基本条例、墨田区文化芸術振興の進行に関する基本指針、墨田区観光振興プラン					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	3人	
事業内容	「北斎」及び「すみだ北斎美術館」を本区におけるシティプロモーションの要とし美術館・博物館との連携を進めるとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックまで継続して文化芸術プロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢(以下、「すみゆめ」)」等の文化プログラムによるPR事業を展開する。					
経 過	開始年度	平成28年度	終了予定	未定		
	<ul style="list-style-type: none"> ■美術館・博物館との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・すみだ北斎美術館と区内の博物館等との相互連携事業の実施(相互割引・相互PR等) ・墨田区美術館・博物館ネットワーク交流会の開催(平成28年度から継続して実施中) ・ウインターリンデン美術館(フランス)とすみだ北斎美術館の間で友好協定覚書の締結(平成30年度) ■文化プログラムによるPR事業 <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術プロジェクト「すみゆめ」の実施(平成28年度から継続して実施中) ・宮本亜門演出・朗読劇「画狂人 北斎」公演実施(平成28年度:すみだ北斎美術館/平成29年度:大英博物館(ロンドン)・曳舟文化センター) ・パリを中心に開催された「ジャポニスム2018」と連動し、パリ市7区庁舎にて「すみだと北斎」に関するパネル展示を実施(平成30年度) 					
議会質問 の 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ■平成31年 予算特別委員会 Q:「すみゆめ」プロジェクトについて、平成31年度(令和元年度)はどういう形で取り組んでいくのか? A:「すみゆめ」プロジェクトは、平成28年度のすみだ北斎美術館開館を契機に開始させていただいた。同プロジェクトは実行委員会形式をとっており、区は共同主催者として補助金を交付している。平成31年度(令和元年度)は3000万円の補助金を交付し、主に「プロジェクト企画」、それから「主催企画」を実施する。また、情報交換の場として「寄合」の開催や「ネットワーク企画」の広報連携等をさせていただく。平成30年度に実施した「パイロット企画」のような企画については、国からの補助金あるいは企業からの協賛がいただけるようであれば実施していきたい。 					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 【年間スケジュール】 <ul style="list-style-type: none"> ■美術館・博物館との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・すみだ北斎美術館と区内美術館・博物館の連携(通年) ・墨田区美術館・博物館ネットワーク交流会(時期未定) ■文化プログラムによるPR事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「すみゆめ」事業の展開(メイン期間:9月~12月下旬) 					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		-	-	10,000	35,581	42,961	35,733
決算額(令和元年度は見込み)		-	-	10,000	35,358	40,593	35,733
財 源	国						0
	都						
	その他				15,000	34,000	30,000
一般財源		#VALUE!	#VALUE!	10,000	20,358	6,593	5,733
執行率(%)		#VALUE!	#VALUE!	100.0%	99.4%	94.5%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	消耗品購入	348	旅費	特別旅費等	857	報償費	北斎川柳審査員謝礼	100
委託料	北斎PRイベント実施委託料	19,058	需用費	消耗品購入	33	需用費	消耗品購入	510
使用料及び賃借料	北斎PRイベント会場使用料	953	委託料	北斎PRイベント実施委託料等	5,607	委託料	北斎PRイベント実施委託料等	4,910
負担金補助及び交付金	すみゆめ補助金	15,000	使用料及び賃借料	PC機器リース料	40	使用料及び賃借料	PC機器リース料	44
			負担金補助及び交付金	すみゆめ補助金	34,000	負担金補助及び交付金	すみゆめ補助金	30,000

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	「すみゆめ」寄合(ネットワーク形成の場)への参加団体数				単位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		40	R2	目標	20	25	30	35
				実績	20	34	48	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	40						
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区内で文化芸術活動等を通じて、地域振興の担い手を増やすべく、ネットワーク形成の場として開催している「すみゆめ」寄合への参加団体数を指標として見ていくことで、区内における文化芸術活動の拡がりを把握する。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	「すみゆめ」事業への参加者数				単位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50000		R2	目標	25000	30000	35000	40000	
			実績	28436	62876	133667		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	50000							
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
「すみゆめ」事業の参加者を指標とすることで、区内及び隅田川流域で実施される文化・芸術活動等に区民・来街者が関わった人数を把握することができるため。目標値は、R2の東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、本事業を拡大させていくことを見据えて設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	すみだ北斎美術館の開館を契機に開始した文化芸術プロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」をはじめとした文化プログラムを展開し、一定の成果あげることができた。今後も引き続き、北斎を通じて区民が文化・芸術に関わる機会を創出するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックまで継続して文化プログラムを展開することで、産業・文化・観光を巻き込み、地域の活性化を図っていく。

課題・問題点
区内美術館・博物館ネットワーク交流会を通じて、すみだ北斎美術館及びその他の区内美術館・博物館の来館者の増加を図るため、会議の開催及び共通マップの作成等を実施しているが、引き続き検討を重ね、回遊・連携促進を図っていく必要がある。また、文化芸術プロジェクト「すみゆめ」では、世界的なアーティストを招聘し、実験的なプログラムを実施するパイロット企画の展開や、プロジェクト企画参加団体個々の成熟により、全体の参加者数は増加している。「すみゆめ」事業そのものをもっと周知させ、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けた気運醸成を図り、地域の活性化に結び付けていく必要がある。

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標						単 位	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
				目 標					
				実 績					
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目 標							
		実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	財団事業数					単 位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1		
5		R7	目 標	2	3	3	4		
			実 績	2	3	3			
		R2	R3	R4	R5	R6	R7		
	目 標	4	5	5	5	5	5		
	実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由									
平成30年度より、文化芸術活動補助金事業と文化芸術情報サイト事業を移管。今後も財団の事業の拡大を図っていくことが、本補助金の目的と考えられるため。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	平成30年度に実施した「文化芸術振興のあり方検討」の結果を受け、財団が専門性を強化し、適切な補助金投入を図りながら、地域の文化芸術活動の中間支援的役割を担えるよう、促していく。

課題・問題点
(1) 財団内部で、専門性を強化するための研修等の仕組みが整っていない。 (2) 音楽事業や北斎事業等、専門的人材が特定分野に偏っている。 (3) すみゆめ事務局を担う中で、地域とのつながりづくりを強化していく必要がある。

施 策	112	すみだの新しい文化・芸術を育てる	部内優先順位			
事業名	文化祭事業				3	
目 的	文化の日を記念して、区内の文化団体及び一般区民の文化・芸術活動の成果を発表する機会を提供することにより、文化都市すみだの文化振興に資する。				主管課・係（担当）	
					文化芸術振興課文化芸術・国際担当	
対 象 者	区民だけでなく、あらゆる地域・年代の方				5608-6212	
根拠法令 関連計画	社会教育法第5条12号、墨田区文化祭等に関する表彰式交付基準要綱 墨田区文化連盟等に関する感謝状交付基準要綱					
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2	
事業内容	<p>区内の文化団体との共催で、区民に文化・芸術活動の成果を発表する機会を提供する。</p> <p>1 参加対象：一般区民（区内在住・在勤・在学）</p> <p>2 時期：9月下旬～11月下旬。11月3日表彰式（区長賞、区議会議長賞、教育長賞、文化連盟賞、優秀賞（自由作品部門のみ））</p> <p>3 関係団体：墨田区文化連盟・墨田区合唱連盟・劇団区民劇場</p> <p>4 会場：すみだリバーサイドホール・曳舟文化センター・すみだトリフォニーホール・江戸東京博物館</p> <p>5 部門：展示部門（9部門：俳句・水墨画・写真・花道・書道・陶芸・絵画・自由作品・茶席）、大会部門（8部門：詩吟・日舞・民謡・珠算・太鼓・合唱・三曲・さくらフェスティバル）、公演部門（1部門：劇団区民劇場）</p> <p>6 参加申込期間：7月上旬～10月中旬。</p>					
経 過	開始年度	昭和29年度		終了予定		
	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和29年、文化連盟誕生とともに、花道・写真・書道・俳句の4団体と区の社会部の後援で、区役所第一庁舎の会議室にて第1回文化祭を開催。その後、開催場所を変え、参加団体・各部門も増加していたが、平成23年度に墨田区短歌会が活動中止となり、また、平成25年度に墨田区造形芸術連盟が文化連盟を脱退し、現在では15団体（うち13団体が、墨田区文化連盟に加盟）で開催している。 ・展示部門：9部門（茶席含む）、大会部門：8部門、公演部門：1部門で構成されている。 ・平成29年度、組織改正に伴い、教育委員会事務局から首長部局に移管（生涯学習課→スポーツ・学習課）。 ・平成30年度、事務移管により主管変更（スポーツ・学習課→文化芸術振興課）。 					
議会質問 の状況						
その他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		5,304	5,443	5,425	5,576	5,501	5,570
決算額（令和元年度は見込み）		5,032	5,173	5,115	5,408	5,299	5,570
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
一般財源		5,032	5,173	5,115	5,408	5,299	5,570
執行率（％）		94.9%	95.0%	94.3%	97.0%	96.3%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	審査謝礼	907	報償費	審査謝礼	909	報償費	審査謝礼	948
需用費	賞品	669	需用費	賞品	682	需用費	賞品	752
役務費	郵送費	141	役務費	郵送費	145	役務費	郵送費	150

委託料	会場設営	2,208	委託料	会場設営	2,302	委託料	会場設営	2,378
使用料及び賃借料	会場使用料	1,483	使用料及び賃借料	会場使用料	1,262	使用料及び賃借料	会場使用料	1,342
事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	来場者数				単位	人
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		8300	R7	目標	7300	7300	7500	8000
				実績	7198	7336	7334	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	8200	8200	8200	8300	8300	8300
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	来場者には参加者と同じ団体で活動する者、友人・家族等が多く、通常の活動についての周囲の興味・理解を示す一指標となる。目標値は、直近の実績から設定。							
	事業の 成果	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	参加者数及び出展数				単位
最終目標値			目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
4000			R7	目標	3000	3000	3300	3500
				実績	2831	2887	2740	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標			3900	3900	3900	4000	4000	4000
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
区内で活動し、区内で成果を発表できる人材を表す指標とする。目標値は、直近の実績から設定。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	サークル等の通常活動会場が主催する発表会等があるが、総合的な文化祭として継続すべき事業である。

課題・問題点
<p>(1) 音と振動の問題で、太鼓大会の実施会場の確保が困難である。</p> <p>(2) 主に高齢化を理由とする文化祭・文化連盟からの脱退団体が複数ある(21年度: 墨田区謡曲連盟、23年度: 墨田区短歌会、25年度: 墨田区造形芸術連盟)ため、文化祭活性化のためには、一般区民の参加が不可欠。</p> <p>(3) 参加団体についても、指導者・会員が高齢化しており、世代交代が必要となっている。</p>

施 策	112	すみだの新しい文化・芸術を育てる	部内優先順位		
事 業 名	すみだ少年少女合唱団活動経費			4	
目 的	合唱団活動を通して、合唱団の団員の情操を育み、その合唱能力の向上を図るとともに、集団活動と仲間づくりを通して自主性、社会性の向上を期し、墨田区の音楽文化・音楽教育の発展に寄与することを目的としている。			主管課・係（担当）	
				文化芸術振興課文化芸術・国際担当	
				5608-6212	
対 象 者	区内在住・在学の小学生3年生から高校生まで				
根 拠 法 令	すみだ少年少女合唱団規約				
関 連 計 画	社会教育法第5条				
実 施 基 準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤1、非常勤1、臨時職員2
事 業 内 容	作曲家・声楽家などの専門家の指導のもとに、墨田区立墨田中学校3階多目的室を主な練習会場として、毎年3月に曳舟文化センターにおいて開催している定期演奏会に向けて、年間55回（主に土曜日・日曜日）の通常練習を積み重ねているほか、墨田区内を中心とした様々なジャンルのイベント等に出演し、地域に根差した活動を続けている。 また、すみだ少年少女合唱団保護者会が中心となって、夏休み中の合宿やクリスマス会なども行われている。				
	練習日 年間55回（主に、土曜日・日曜日。場合により、祝日や、夏・冬休みの平日） ・練習時間 土曜日：午後2時～6時／日曜日：午前10時～午後3時（昼食持参） ・練習場所 墨田区立墨田中学校（向島4-25-22）ほか、区内施設 ・演奏活動 定期演奏会、年4回の外部出演（墨田区合唱祭等）、ボランティア公演など ・費用 団員費12,000円/年（減免制度あり） （その他、楽譜代や演奏会出演時の交通費などが別途かかる。） ・対 象 墨田区内在住または在学の小学3年生～高校生				
経 過	開始年度	昭和60年	終了予定	未定	
	昭和60年「すみだ少年少女合唱団」結成 平成14年度から受益者負担の観点から団員費徴収開始（減免措置あり） 平成29年度、組織改正に伴い、教育委員会事務局から区長部局に移管（生涯学習課→スポーツ・学習課） 平成30年度、事務移管により主管変更（スポーツ・学習課→文化芸術振興課）				
議 会 質 問 の 状 況					
そ の 他 特 記 事 項					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		4,575	4,780	4,582	6,512	7,538	7,637
決算額（令和元年度は見込み）		4,418	4,675	4,512	6,428	7,248	7,637
財 源	国						
	都						
	その他	519	556	636	669	770	673
一般財源		3,899	4,119	3,876	5,759	6,478	6,964
執行率（%）		96.6%	97.8%	98.5%	98.7%	96.2%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	講師謝礼	3,542	報償費	講師謝礼	3,763	報償費	講師謝礼	3,843
賃金	臨時職員	273	報酬	非常勤	2,618	報酬	非常勤	2,642
需用費	制服等	2,123	賃金	臨時職員	262	賃金	臨時職員	332
委託料	定期演奏会	162	需用費	消耗品等	122	需用費	消耗品等	263
			委託料	定期演奏会	162	委託料	定期演奏会	165

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	定期演奏会来場者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		582	R7	目 標	582	582	582	582
				実 績		500	365	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標	582	582	582	582	582	582
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	一年間の活動の集大成である定期演奏会における来場者数を指標にすることによって、合唱団の知名度の向上を示す指標になる。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	在籍団員数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
120		37	目 標	90	90	95	100	
			実 績	89	86	91		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標		100	105	110	115	120	120	
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
活動による知名度向上の反映として本指標を設定する。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	音楽都市すみだの理念に基づく音楽文化の振興と子どもたちの異学年交流、集団活動を通じた健全育成の両面を併せ持つ事業として、有効な事業である。合唱を通じて子どもたちの情操を養うとともに、集団行動を行うことにより、自主性、社会性の向上を目指す本事業は30年を超える事業であり、団員数の維持・確保に努めつつ、今後も実施する。

課題・問題点
定期演奏会以外の外部出演の定義があいまいになっており、外部からの評価が高まるにつれ、区外での活動が増えている状況である。区内での演奏活動は行っているものの、気軽に大勢の方に合唱団の歌声を聴いていただく機会が少ないため、今後は、原点に立ち返り、子供たちや保護者の方に過度の負担にならないよう配慮しながら、区内での演奏活動に力を入れていきたい。

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	国技館5000人の第九コンサートの合唱参加者数				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		4,800	R7	目 標	4,700	4,800	4,800	4,800
				実 績	4,788	4,949	5,050	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	合唱参加者の増加が、来場者数の増加につながるため。 目標値は、国技館会場内における合唱団員の最大着席可能数を設定している。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	国技館5000人の第九コンサートの入場者数				単 位	人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
3,200		R7	目 標	3,000	3,100	3,100	3,100	
			実 績	3,096	3,167	3,364		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	3,100	3,100	3,200	3,200	3,200	3,200		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
当日の来場者数がほぼ満席になることが、コンサートの成功を示す成果指標となるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	国技館5000人の第九コンサートは、当区の「音楽都市構想」を具現化する事業である。また、合唱参加者の大幅な減少により運営収支が厳しい状況の時期もあったが、直近3年間は新規参加者が大幅に増え、参加者数、来場者数とも増加しているため、今後も現状の範囲での補助を継続する。

課題・問題点
コンサートを実施するにあたり安定した運営状況を保つため、歌う会の運営面財政面での一層の強化が課題である

施 策	112	すみだの新しい文化・芸術を育てる	部内優先順位			
事 業 名	トリフォニーホール管理運営				6	
目 的	区民に音楽をはじめとする様々な芸術鑑賞の機会と自主的な芸術文化活動の場を提供するとともに、新たな芸術文化の創造に資する事を展開することにより、文化性豊かなまちづくりに寄与するため。				主管課・係(担当)	
					文化芸術振興課文化芸術・国際担当	
対 象 者	区民等				5608-6212	
根拠法令 関連計画	すみだトリフォニーホール条例及び同条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	(公財)墨田区文化振興財団	
事業内容	すみだトリフォニーホール条例第16条の規定に基づき、施設の管理運営業務を指定管理者である(公財)墨田区文化振興財団に委託することで、円滑なホール運営と音楽都市づくりの着実な進展を図る。					
経 過	開始年度	平成9年度		終了予定		
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成9年10月26日開館 ・平成9年度から委託開始(施設の維持管理及び大ホール・小ホール等の貸館事業) ・平成16年度から、施設経年に伴う計画的な修繕を開始 ・平成18年度から、すみだトリフォニーホール(非公募施設)の指定管理者に(財)墨田区文化振興財団を指定。(1期目 H18.4~H23.3) ・平成23年度から、すみだトリフォニーホール(非公募施設)の指定管理者に(財)墨田区文化振興財団を指定。(2期目 H23.4~H28.3) ※24年度から公益財団化 ・平成28年度から、すみだトリフォニーホール(公募施設)の指定管理者に(公財)墨田区文化振興財団を指定。(3期目 H28.4~R3.3) 					
議会質問 の 状 況	平成31年1定本会議 すみだトリフォニーホールの改修計画と財源について 平成31年1定本会議 すみだトリフォニーホールの維持管理にお金がかかりすぎる。民営化も含めた検討を。 (区長答弁) 大規模修繕に向けて、コンストラクションマネジメントを実施し、効率的な工事と経費の圧縮を図っていく。 大規模修繕にあたって、民間活力の導入可能性を検討していく。					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		461,271	465,161	412,079	437,470	591,060	435,933
決算額(令和元年度は見込み)		457,019	462,086	392,628	416,197	570,205	435,933
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	37,243	36,130	33,766	37,489	32,161	56,097
一般財源		419,776	425,956	358,862	378,708	538,044	379,836
執行率(%)		99.1%	99.3%	95.3%	95.1%	96.5%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	指定管理委託料	371,797	委託料	指定管理委託料	341,035	委託料	指定管理委託料	388,838
工事請負費	維持補修	9,179	委託料	消防設備更新委託	196,460		工事請負費	14,384
備品購入費	グランドピアノ購入	2,510	負担金補助及び交付金	アルカタワーズ共益費	32,711	負担金補助及び交付金	アルカタワーズ共益費	32,711
負担金補助及び交付金	アルカタワーズ共益費	32,711						

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標	ホール日数利用(稼働)率(大ホールのみ)				単 位	%
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		95	R7	目 標	95	95	95	95
				実 績	97	99	99	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目 標	95	95	95	95	95	95	
	実 績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	施設の有効性を図る指標としては、稼働率が最も適切であるため。							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	トリフォニーホール年間入場者数				単 位	千人
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
300		R7	目 標	300	300	300	300	
			実 績	237	239	231		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目 標	300	300	300	300	300	300		
実 績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
ホールを利用する人の増減が、文化・芸術振興の一つの指標となるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	安定的・継続的な運営を考えると、引き続き区が運営すべきと考える。一方で、大規模修繕を控え、すみだトリフォニーホールの意義や必要性について、幅広い区民の理解を得るためにも、クラシックにとどまらない多様な公演の実施など、指定管理者と協議していく必要がある。

課題・問題点
(1) 行われている公演がクラシックに偏り、区民来場率は高くない。 (2) 小ホールを中心に、区民の施設利用は徐々に伸びてきている。 (3) すみだトリフォニーホールを中心とした音楽事業等について、幅広い区民からの理解と共感を得るための情報発信など、努力する必要がある。

施 策	112	すみだの新しい文化・芸術を育てる	部内優先順位			
事 業 名	リバーサイドホール管理運営				7	
目 的	墨田区に関する情報を広く内外に発信し、その知識を高めるとともに、区民が集い、交流し、及び活動する場とし、墨田区の発展と文化の振興に寄与するため、すみだリバーサイドホールを、平成2年11月に開設した。 講演会、式典、シンポジウムなど幅広く利用されている。				主管課・係（担当）	
					文化芸術振興課 文化芸術・国際担当	
対 象 者	・墨田区(個人・団体) ・墨田区民外(個人・団体)				5608—6212	
根拠法令 関連計画	すみだリバーサイドホール条例 ・ すみだリバーサイドホール条例施行規則					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(株)楽天地セルビス	
事業内容	イベントホール・ギャラリー・ミニシアター・会議室の貸出に関する業務等 ①使用料の徴収 ②施設の管理・点検業務 ③その他					
経 過	開始年度	平成2年11月		終了予定		
	平成2年11月5日 開館 平成13年3月31日 展示室を廃止 平成16年度 音響・照明等相談業務廃止 平成17年4月 管理等業務委託開始					
議会質問 の 状 況						
そ の 他 特 記 事 項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		954	1,109	29,975	33,413	26,099	25,323
決算額（令和元年度は見込み）		915	938	29,897	27,019	25,385	25,323
財 源	国	0	0	0	0	0	
	都	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
一般財源		915	938	29,897	27,019	25,385	25,323
執行率（%）		95.9%	84.6%	99.7%	80.9%	97.3%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
需用費	管理用消耗品費	1,254	需用費	管理用消耗品費	1,781	需用費	管理用消耗品費	1,128
役務費	鯉のぼり掲出・輸送料等	169	役務費	鯉のぼり掲出・輸送料等	121	役務費	郵送料	31
委託料	照明設備外保守点検	22,221	委託料	照明設備外保守点検	22,340	委託料	照明設備外保守点検	22,558
使用料及び賃借料	音響卓ミキサー外リース	341	使用料及び賃借料	音響卓ミキサー外リース	367	使用料及び賃借料	液晶プロジェクター使用料等	426
工事請負費	演台・音響設備工事	1,472	工事請負費	演台・音響設備工事	778	工事請負費	小破損修理費	525
備品購入費	プロジェクター・椅子・可動ステージ購入	1,563				備品購入費	ロビーチェア他の購入	601

事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活 動 指 標)	指 標					単 位	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
				目 標				
				実 績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目 標						
		実 績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	目 的 に 対 する 指 標 (成 果 指 標)	指 標	イベントホール稼働率				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1	
80		R7	目 標	80	80	80		
			実 績	73.72	66.19	64.94		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
	目 標							
	実 績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
リバーサイドホールの中心施設であるイベントホールの稼働率が、成果を図る指標となると判断した。目標値は、数年の平均から、達成可能な値を設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	設備・備品の老朽化が著しい。備品については、積極的に更新を図るとともに、庁舎のリニューアル計画に合わせ、照明や音響等を更新し、区民の利便性の向上を図る。

課題・問題点
<p>オープンから30年目を迎え、施設や設備、特に、空調の老朽化などにより、利用者の希望に添えないことがある。</p> <p>イベントホールは、冷房が効きづらく、暑すぎるとの苦情があるため、庁舎との一括方式ではなく単体での運行が可能な物を配備するなど、設備面での改善が必要である。</p>

補助金名称	隅田川 森羅万象 墨に夢 実行委員会 補助金			主管課・係(担当)		
根拠法令	墨田区文化芸術振興基本条例、墨田区文化芸術の振興に関する基本指針			文化芸術振興課文化芸術・国際担当		
補助概要	「隅田川 森羅万象 墨に夢」は墨田区及び隅田川 森羅万象 墨に夢 実行委員会の共同主催にて実施している事業であるが、同実行委員会が中心となって事業を展開するため、区から補助金を交付している。			5608-6115		
目的	地域の魅力を発見し、楽しみ、さまざまな表現活動を生み出す人たちをつなぐ文化芸術プロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」を通じ、本区の文化芸術の振興と地域の活性化を図る。					
対象	文化芸術プロジェクト「隅田川 森羅万象 墨に夢」に関する経費					
基準	区独自基準					
補助条件	本プロジェクトの目的外に使用してはならない					
経過	開始年度	平成28年度	終了予定	令和2年度		
	<p>■「隅田川 森羅万象 墨に夢（通称：すみゆめ）」 平成28年11月22日のすみだ北斎美術館開館を契機に始まった文化芸術プロジェクト。本プロジェクトは、主に4本の柱で展開。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆寄合 「すみゆめ」について考えたり、情報交換をしたりする場 ◆プロジェクト企画 「北斎」・「隅田川」をテーマにした企画の募集。採択団体に補助を行う。 ◆ネットワーク企画 「すみゆめ」の趣旨に賛同する個人・団体の企画との広報連携 ◆主催企画 実行委員会主催企画「すみゆめ踊行列」等の実施 <p><平成28年度> ◎すみだ北斎美術館開館を契機に、「隅田川 森羅万象 墨に夢（通称：すみゆめ）」事業スタート ・メイン期間：平成28年9月23日から平成28年11月22日まで ・主催企画：「すみゆめ踊行列」9月22日実施 ・プロジェクト企画：38件実施（応募件数：93件／補助金上限額：30万円）</p> <p><平成29年度> ◎「プロジェクト企画」への補助金上限額を100万円に変更 ・メイン期間：平成29年9月1日から平成29年11月30日まで ・主催企画：「すみゆめ踊行列」8月27日実施 ・プロジェクト企画：17件実施（応募件数：39件／補助金上限額：100万円）</p> <p><平成30年度> ◎世界的に活躍するアーティストとともに実験的なプログラムを展開する「パイロット企画」を実施 ・メイン期間：平成30年9月3日から平成30年12月28日まで ・主催企画：「すみゆめ踊行列」9月2日実施／パイロット企画①「キノカブの学校ごっこ」11月9日～11月11日・11月16日～11月18日実施、②「隅田川ディスコ with ミラーボールカー」11月23日～11月25日実施、③「ファスナーの船」12月14日～12月28日実施 ・プロジェクト企画：17件実施（応募件数：40件／補助金上限額：100万円）</p>					
議会質問の状況	<p>■平成31年 予算特別委員会 Q：「すみゆめ」プロジェクトについて、平成31年度（令和元年度）はどういう形で取り組んでいくのか？ A：「すみゆめ」プロジェクトは、平成28年度のすみだ北斎美術館開館を契機に開始させていただいた。同プロジェクトは実行委員会形式をとっており、区は共同主催者として補助金を交付している。平成31年度（令和元年度）は3000万円の補助金を交付し、主に「プロジェクト企画」、それから「主催企画」を実施する。また、情報交換の場として「寄合」の開催や「ネットワーク企画」の広報連携等をさせていただく。平成30年度に実施した「パイロット企画」のような企画については、国からの補助金あるいは企業からの協賛がいただけるようであれば実施していきたい。</p>					
その他特記事項	<p>（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 【年間スケジュール】 4月上旬-プロジェクトの公募 5月下旬-公募プロジェクトの選考 9月～12月下旬-すみゆめメイン期間 2月-報告会 随時-寄合（月1回程度）、ネットワーク企画 【実行委員会構成団体】 東京藝術大学、公益財団法人通信文化協会、公益財団法人墨田区文化振興財団、一般社団法人墨田区観光協会、公益財団法人東京都公園協会、墨田区</p>					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		-	-	10,000	15,000	34,000	30,000
決算額（令和元年度は見込み）				10,000	15,000	34,000	30,000
財源	国						0
	都						
	その他				15,000	34,000	30,000
一般財源		0	0	10,000	0	0	0
執行率（%）		#VALUE!	#VALUE!	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	すみゆめ寄合（ネットワーク形成の場）への参加団体数				単位	団体
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		40	R2	目標	20	25	30	35
				実績	20	34	48	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	40					
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	区内で文化芸術活動等を通じて、地域振興の担い手を増やすべく、ネットワーク形成の場として開催している「寄合」への参加団体数を指標として見ていくことで、区内における文化芸術活動の拡がりを把握する。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	すみゆめ事業への参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		50000	R2	目標	25000	30000	35000	40000
				実績	28436	62876	133667	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		50000						
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
区内で実施される文化・芸術活動等に、区民が関わる機会を図る指標となるため。目標値は、R2の東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、本事業を拡大させていくことを見据えて設定した。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		すみだ北斎美術館の開館を契機に開始した文化芸術プロジェクトを展開し、一定の成果あげることができた。今後も引き続き、北斎を通じて区民が文化・芸術に関わる機会を創出するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックまで継続して文化プログラムを展開することで、地域の活性化や産業・文化・観光を巻き込み、ムーブメントを盛り上げていく。						

課題・問題点	
<p>世界的なアーティストを招聘し、実験的なプログラムを実施するパイロット企画の展開や、プロジェクト企画参加団体個々の成熟により、全体の参加者数が増加しているところであるが、引き続き、広報活動を強化し、「すみゆめ」の認知度を高め、多くの方に関わっていただき、地域の活性化を図る必要がある。</p>	

補助金名称	(公財) 墨田区文化振興財団に対する助成			主管課・係(担当)
根拠法令	(公財) 墨田区文化振興財団に対する助成に関する条例			文化芸術振興課文化芸術・国際担当
補助概要	(公財) 墨田区文化振興財団に対し、事務及び事業に要する経費の一部を補助することで、本区の文化芸術の振興と時代を先取りした新たな芸術文化の創造及び発信を行い、区民活動の向上と文化都市の形成に寄与するという財団の設立目的達成の一助とする。			5608-6212
目的	公益財団法人墨田区文化振興財団の健全な運営と発展を図るために、財団に対して助成し、もって墨田区の文化振興に資することを目的とする。			
対象	(公財) 墨田区文化振興財団			
基準	区独自基準			
補助条件	<p>公益財団法人墨田区文化振興財団に対する助成に関する条例 第2条 区長は、財団に対し、財団の事務及び事業に要する経費の一部を予算の定めるところにより助成するものとする。</p> <p>公益財団法人墨田区文化振興財団に対する助成に関する条例施行規則 第2条 公益財団法人墨田区文化振興財団(以下「財団」という。)は、条例第2条第1項の規定により補助金の交付を受けようとするときは、公益財団法人墨田区文化振興財団補助金交付申請書(第1号様式)に事業計画書及び収支予算書を添付して区長に申請しなければならない。</p>			
経過	開始年度	平成8年度	終了予定	
	<ul style="list-style-type: none"> 平成8年3月29日 区から徳門出捐して、財団法人墨田区文化振興財団を設立 平成8年度から助成開始 平成18年度からすみだトリフォニーホール(非公募)の指定管理者に(財)墨田区文化振興財団を指定 平成23年度からは、指定管理者2期目となる(平成28年3月31日まで) 平成24年4月1日 公益財団法人墨田区文化振興財団へ移行 平成28年度からは、指定管理者3期目となる(平成32年3月31日まで)(公募) すみだ北斎美術館の指定管理者の代表団体となる(平成28年11月22日開館) 平成29年度～ すみゆめ事務局を請け負う。 平成30年度～ 区から、補助金事業と文化芸術情報サイト事業を事務移管 			
議会質問の状況	<p>平成29年3定本会議 文化振興財団は、指定管理の受託事業以外に、どのような文化芸術振興プログラムを推進するのか。(区長答弁) 財団は、地域とのつながりを構築し、地域のアーティストや団体の情報発信をはじめとする様々な支援を行う、中間支援的役割を期待しており、財団の主体的変革を促していく。</p>			
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)			

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額(事業費)		119,248	126,344	101,722	64,062	76,452	73,098
決算額(令和元年度は見込み)		103,304	111,066	97,619	62,771	72,505	73,098
財源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	5,000	3,700	0	5,000	0	5,000

一般財源		98,304	107,366	97,619	57,771	72,505	68,098	
執行率 (%)		86.6%	87.9%	96.0%	98.0%	94.8%	100.0%	
補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標					単位	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
				目標				
				実績				
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
			目標					
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	財団事業数				単位	件
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		5	R7	目標	2	3	3	4
				実績	2	3	3	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4	5	5	5	5	
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
平成30年度より、文化芸術活動補助金事業と文化芸術情報サイト事業を移管。今後も財団の事業の拡大を図っていくことが、本補助金の目的と考えられるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	<p>本補助はすみだの文化芸術振興に資するものであるため、(公財)墨田区文化振興財団がすみだの文化芸術の要となる団体となるよう、引き続き支援していく。</p> <p>適切な補助金投入を図りながら、地域の文化芸術活動の中間支援的役割を担えるよう、促していく。</p>

課題・問題点
<p>(1) 財団内部で、専門性を強化するための研修等の仕組が整っていない。</p> <p>(2) 音楽事業や北斎事業等、専門的人材が特定分野に偏っている。</p> <p>(3) すみゆめ事務局を担う中で、地域とのつながりづくりを強化していく必要がある。</p>

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	国技館5000人の第九コンサートの合唱参加者数			単位	人	
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		4,800	R7	目標	4,700	4,800	4,800	4,800
				実績	4,788	4,949	5,050	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	合唱参加者の増加が、来場者数の増加につながるため。目標値は、国技館会場内における合唱団員の最大着席可能数を設定している。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	国技館5000人の第九コンサートの入場者数			単位	人	
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	R1	
		3,200	R7	目標	3,000	3,100	3,100	3,100
				実績	3,096	3,167	3,364	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標		3,100	3,100	3,200	3,200	3,200	3,200	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
当日の来場者数がほぼ満席になることが、コンサートの成功を示す成果指標となるため。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	国技館5000人の第九コンサートは、当会の「音楽部構想」を具現化する事業である。また、合唱参加者の大幅な減少により、運営収支が厳しい状況の時期もあったが、直近3年間は新規参加者が大幅に増え、参加者数、来場者数とも増加しているため、今後も現状の範囲内での補助を継続する。

課題・問題点
コンサートを実施するにあたり安定した運営状況を保つため、歌う会の運営面財政面での一層の強化が課題